

Title	大阪公衆衛生 第54号 出版編集室の窓から／奥付／裏表紙
Author(s)	
Citation	大阪公衆衛生. 1988, 54
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/83718
rights	
Note	

Osaka University Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

Osaka University

出版編集室の窓から

「毎度のことながら発行が大変遅れ、原稿を頂いた方々には全く申し訳ないと思っています……」。これは、なんと本誌第7号（昭和35年8月発行）の編集後記の書き出しです。不易流行と申しますが30年の歳月を経てもかわらぬ編集者の詫言は、歴史の重み(?)を感じさせてくれます。ちなみにその号の編集者としては、朝倉新太郎、井田直美、猫西一也の3人のお名前が出ています。

今回遅延の最大の理由は、デスク（編集室長）の不慮の事故です。しかし年末のD大対W大のラグビー戦で、D大の主将が負傷退場するや否や副主将が全員にハッパをかけ、終盤の猛攻で勝利を手にしたのと同じく、副編集長・古森ドクターの奮起により、私たちもなんとか重責を果たせたのではないかと考えています。

今号のメインは母子保健です。成人・老人保健の基本が母子にあるということ、その母子保健も、母と子だけを対象としていてはダメで、家族、家庭を全体として考えなければならない……そのあたりを感じ取っていただければと思います。

「ヨーロッパの古い」は最終回。筆書には長期ご執筆を、読者には長期ご愛読を感謝します。
(野口・宮川)

《デスクからのお詫び》

「デスクの不慮の事故」は大ゲサですが、9月の敬老の日に自宅で脚立から転落、手首の骨折で千里救命センターに5日間入院という椿事が発生。春秋の筆法をもってすれば、それが発行遅延の理由ということになります。入院したとき太田院長から「救急医療の勉強には、ICUに入ってもら方がいいのだが」と言われ、キモを冷やしました。お世話いただいた皆様に深謝。
(張)

大阪公衆衛生 54号

発行 昭和63年12月
編集責任 (財)大阪公衆衛生協会
出版編集室

発行者 中谷 肇
発行所 大阪市城東区蒲生2丁目-10-28
大阪府城東庁舎内
TEL. (06) 932-1458

(財)大阪公衆衛生協会

Osaka Public Health Reports

54

1988. 12

